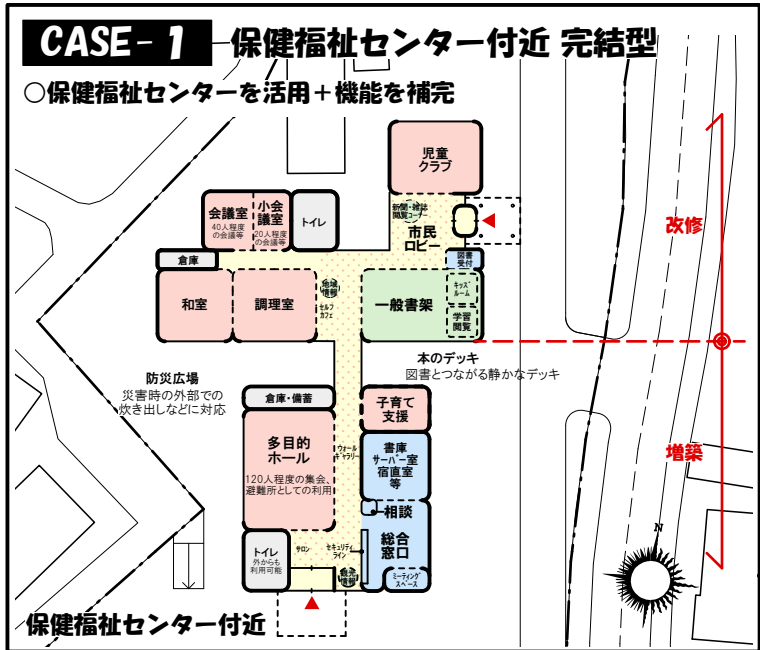


第3回市民ワークショップでの協議

第3回市民ワークショップでは、美東地域に相応しい建設場所、及び、空間の構成はどのタイプが相応しいか？を個人の考えで選んでももらいました。

第3回市民ワークショップで最も評価された案



グループ毎に、どの案が適しているか、選んでももらいました。

	CASE-1	CASE-2	CASE-3
グループ毎の総合評価	グループ1 グループ2 (グループ3) グループ4 グループ5	(グループ3)	グループ6

※グループ3についてはCASE-1かCASE-2で決めきれないという意見でした。

グループの評価を踏まえ、個人の意見で選んでももらいました。

	CASE-1	CASE-2	CASE-3
個人の総合評価	14人	5人	8人

市の方向性

第3回ワークショップで最も評価されたCASE-1
保健福祉センター付近に完結型

美祢市が直面する、高齢化の進行、出生率の低下（昨年美祢市の出生数76人）といった課題や、既存の保健福祉センターを活用することができる、という利点を踏まえると、出来るだけコンパクトにつくり、財政負担を減らすという方針が庁内検討委員会にて示された。

市の方向性

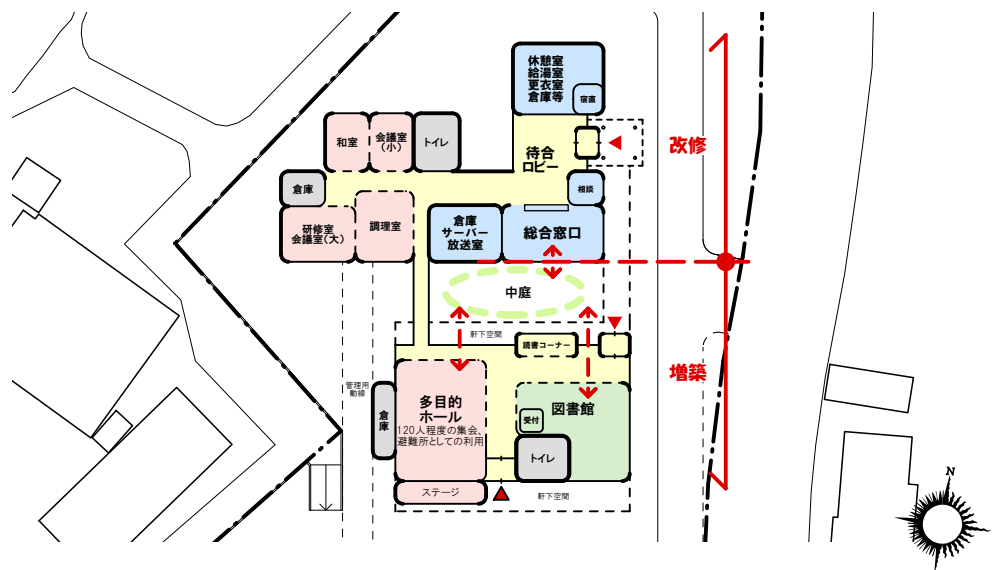
「保健センターを活用し、新しい複合施設を整備することとなった

市の方向性を受けて、CASE-1の基本理念を大切に、基本計画の作成業務を進めた。

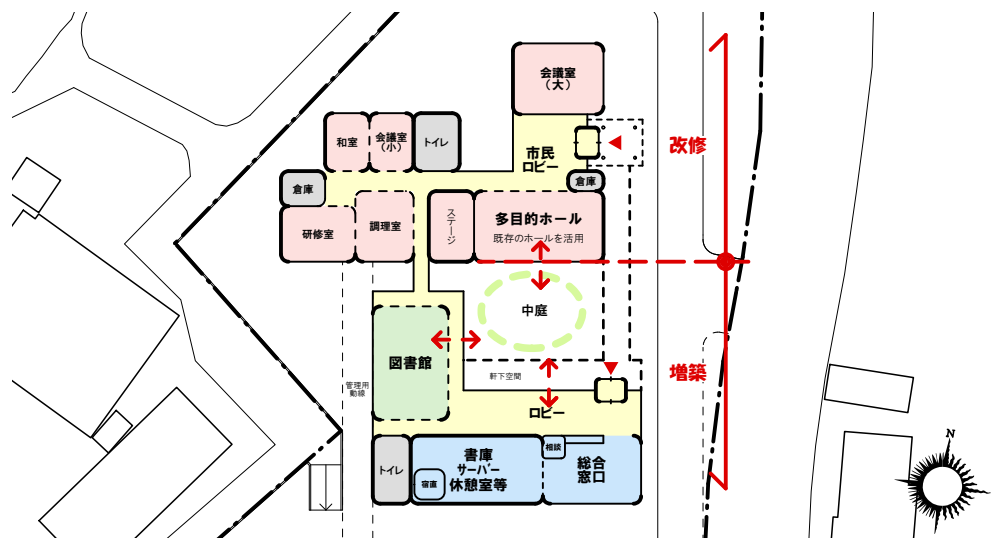
第4回市民ワークショップ（紙上協議）での協議

第4回市民ワークショップ（紙上協議）のでは、公民館、図書館、総合支所という3つの機能をどのように配置するかについて、良い点、改善した方がいい点など、意見を出してもらいました。

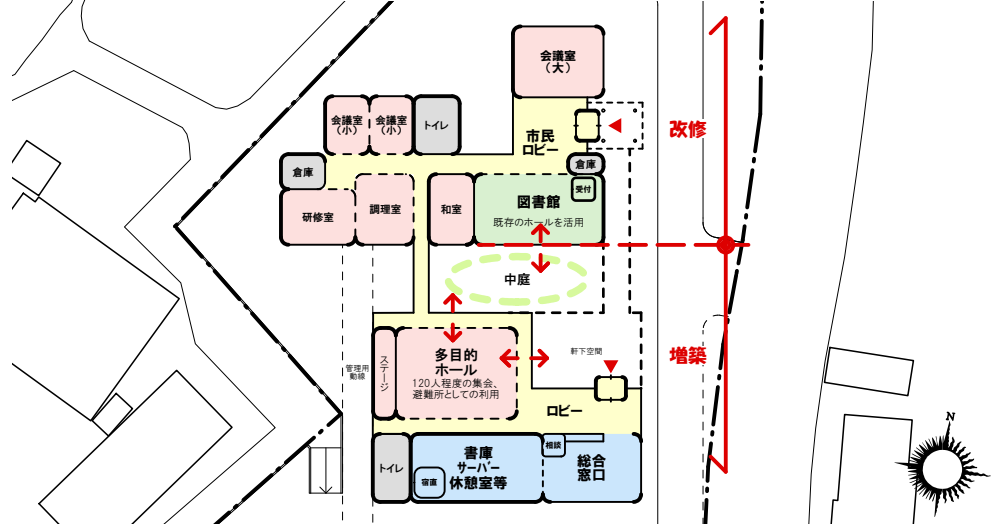
タイプ-A 保健福祉センターを「公民館機能＋総合支所機能」として活用、「図書館機能＋多目的ホール」を新たに増築する案



タイプ-B 保健福祉センターを「公民館機能」として活用、「図書館機能＋総合支所機能」を新たに増築する案

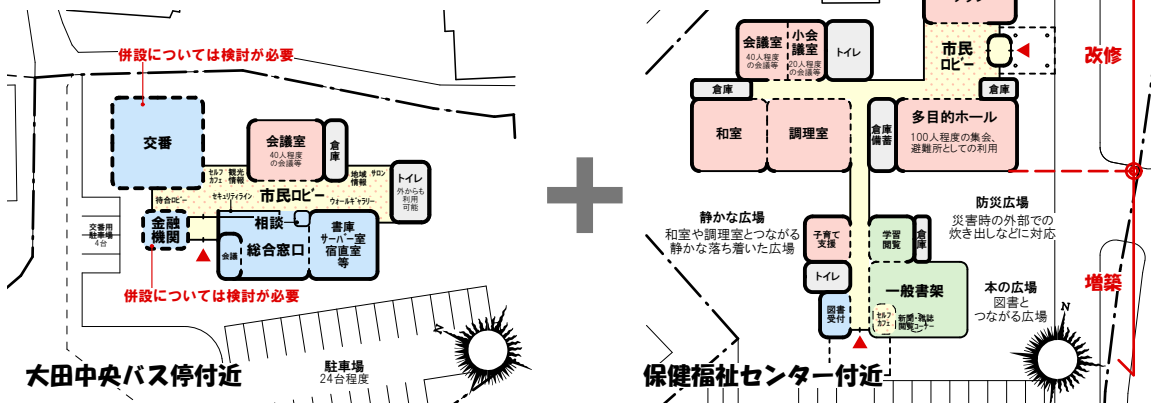


タイプ-C 保健福祉センターを「公民館機能＋図書館機能」として活用、「多目的ホール＋総合支所機能」を新たに増築する案



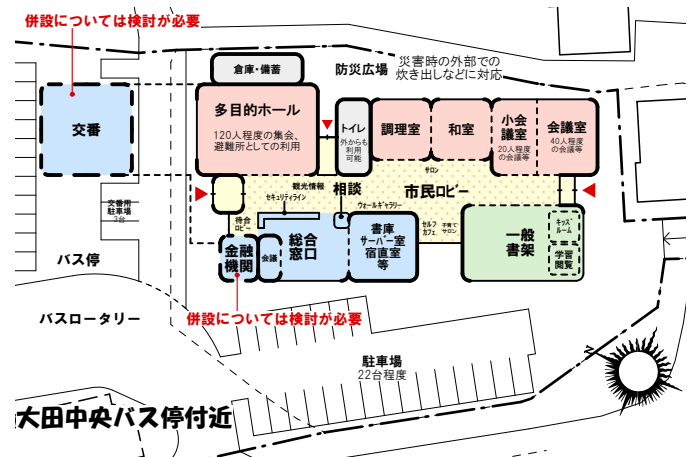
CASE-2 保健福祉センター付近＋大田中央バス停付近の2拠点型

- 保健福祉センターを活用＋不足機能を補完…「公民館＋図書機能」
- 大田中央バス停付近に「総合支所＋関連機能」



CASE-3 大田中央バス停付近 完結型

- 大田中央バス停付近に「総合支所＋公民館＋図書機能」
- ・保健福祉センター付近に児童クラブ、子育て支援、将来的に保育園の整備を検討



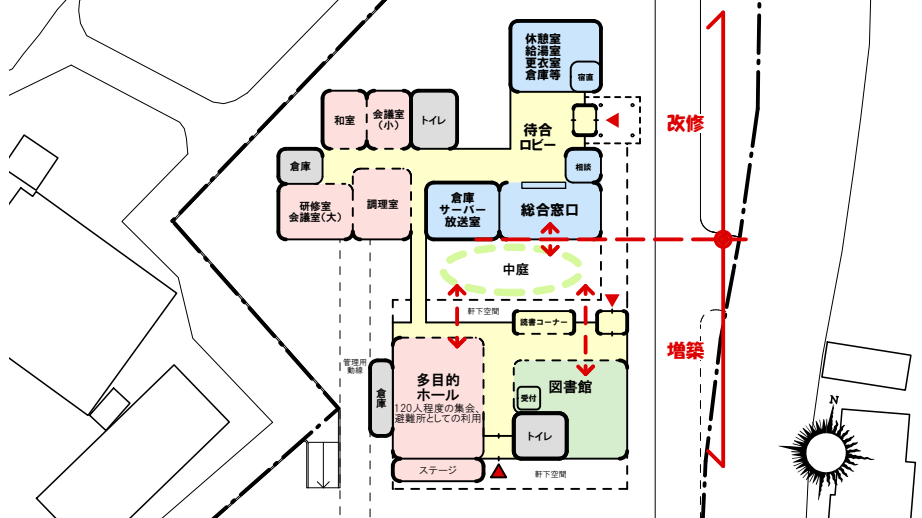
第4回市民ワークショップ（紙上協議）でのタイプごとの意見

意見を踏まえた基本計画案（素案）のとりまとめ

第4回市民ワークショップで出された「空間の構成図」の各タイプ毎の意見を以下にまとめました。

タイプ-A

保健福祉センターを「公民館機能+総合支所機能」として活用、
「図書館機能+多目的ホール」を新たに増築する案



出された意見のまとめ

-良いところ-

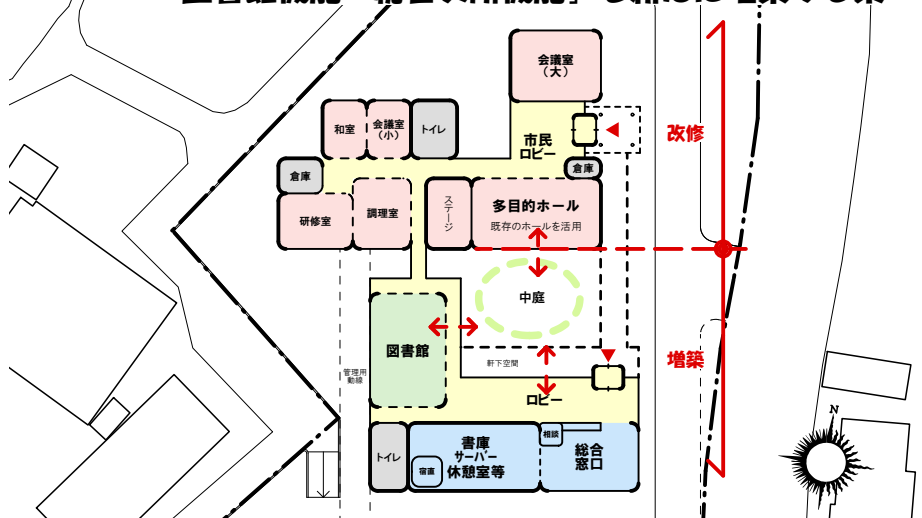
- 多目的ホールと図書館がつながりいろいろな使い方が出来る
- 多目的ホールのステージが外とつながりいろいろな使い方が出来そう
- 公民館と支所が一緒にあると、管理がしやすい
- 総合支所が多目的ホールと離れているため、音の問題がない

-改善した方がいいところ-

- 図書館と多目的ホールが隣り合うため、音が気になる
- 公民館の事務室が分かる様にしてほしい
- 入ってすぐのところに、倉庫や休憩室があり、もったいない

タイプ-B

保健福祉センターを「公民館機能」として活用、
「図書館機能+総合支所機能」を新たに増築する案



出された意見のまとめ

-良いところ-

- 総合支所窓口の待ち時間に図書館利用ができる
- 総合支所が南側にあり、建物の玄関口になりそう
- 総合支所で図書館の貸し出し業務を兼任できる
- 多目的ホールと図書館、ロビーが中庭とつながりいろいろな使い方が出来そう

-改善した方がいいところ-

- 多目的ホールの位置が分かりにくい
- 中庭が大きすぎる
- 運営時間の違う、図書館と総合支所のセキュリティ対策が必要
- 公民館の事務室が分かる様にしてほしい

タイプ-C

保健福祉センターを「公民館機能+図書館機能」として活用、
「多目的ホール+総合支所機能」を新たに増築する案



出された意見のまとめ

-良いところ-

- 多目的ホールと図書館が中庭とつながりいろいろな使い方が出来る
- 総合支所が南側にあり、建物の玄関口になりそう

-改善した方がいいところ-

- 多目的ホールと総合支所が隣り合うため、音が気になり、相談などに支障をきたす
- 運営時間の違う、多目的ホールと総合支所のセキュリティ対策が必要
- 公民館の事務室が分かる様にしてほしい

出された意見を総合的に分析・集約し、一つの基本計画案（素案）としてまとめました。（詳細については資料-3を参照）

現段階での基本計画案（素案）



既存の車庫を活用するため、北側に新たに増築するスペースを確保できない

現在の駐車場とグラウンドの境界線

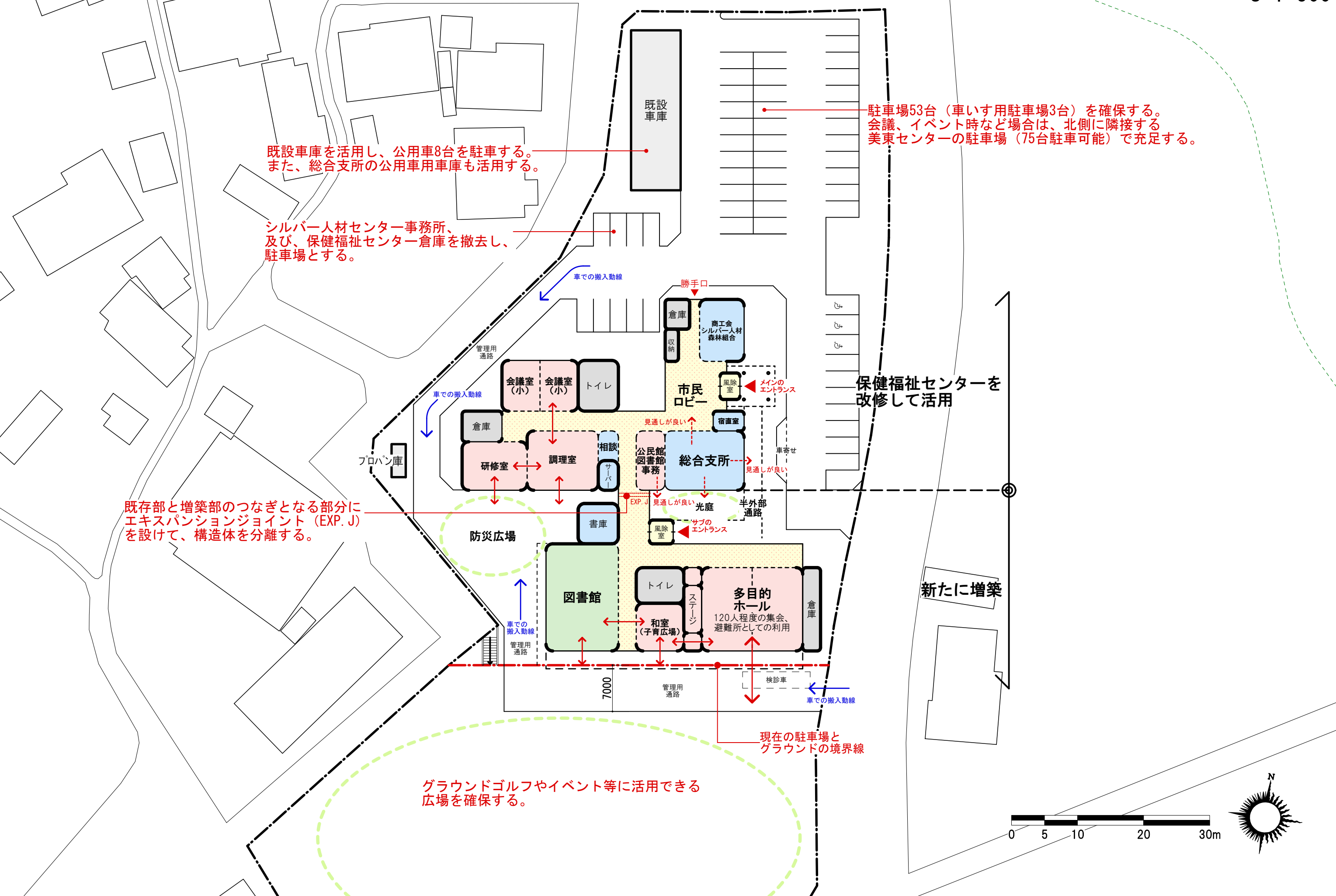
グラウンドゴルフやイベント等に活用できる広場を確保する

主な特徴や改善点（詳細については資料-3を参照）

- 改修部分と増築部分の間の中庭をコンパクトにする
- 訪れた人にとって分かりやすい（管理も行いやすい）建物の中心に公民館・図書館事務所を設ける
- 図書館を多目的ホールからある程度離し、静かな図書館とする
- 図書館、多目的ホールとつながる和室（子育て広場と兼用）を設ける
- 商工会、シルバー人材、森林組合を併設する
- グラウンドゴルフやイベント等に活用できる広場を確保する

この素案は、必要な空間構成の大まかな配置の考え方を示しています。細かな部分については、今後の基本設計段階で検討を重ねていきます。

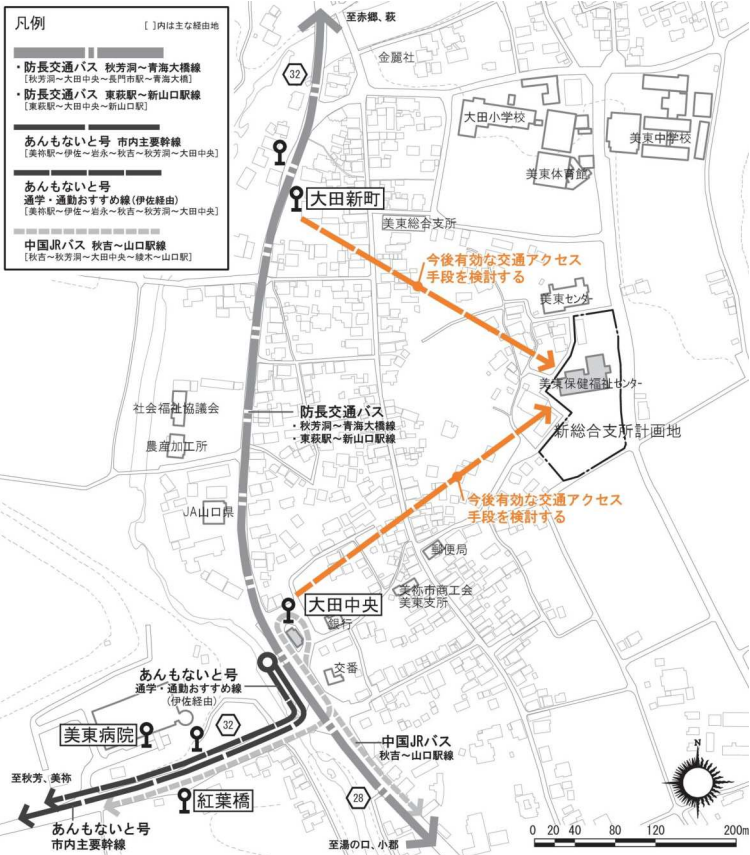
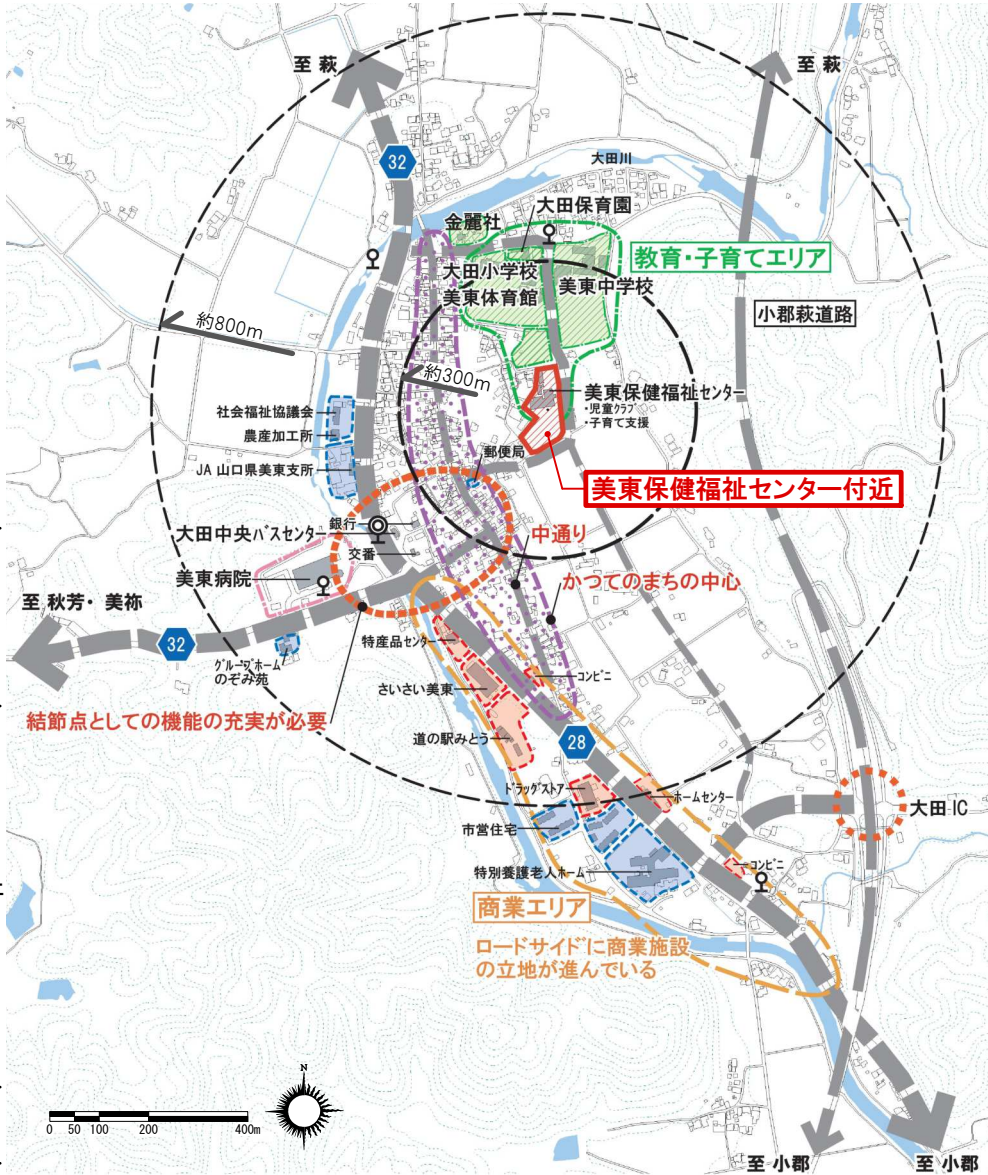
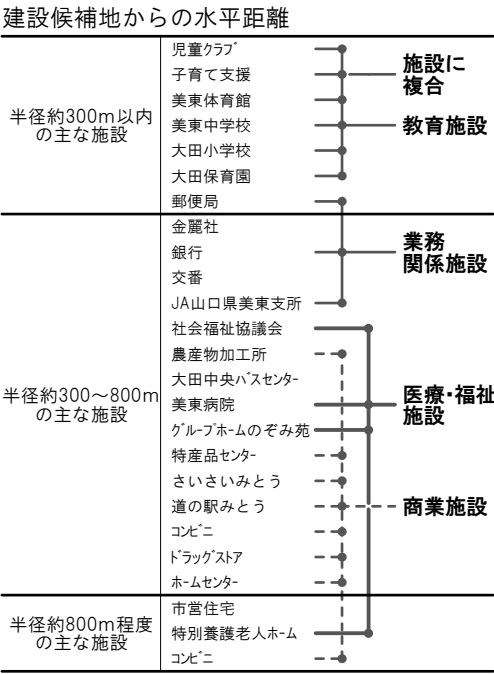
S=1:500



まちづくりの考え方

今後、美東地域のまちづくりを考える上で、周辺の保育園、小学校、中学校、体育館との一体的に教育・子育てエリアの拠点施設としての、計画づくりが重要となる。

また、結節点となる大田中央バス停からの交通アクセス方法を確保し、子どもからお年寄りまですべての人にとって利用しやすい、複合施設とする。



交通アクセス計画

高齢者や若年世代など自ら移動手段を持たない人たちにとって、公共交通機関の整備状況は重要な意味を持つことになる。

人口減少が進むに連れ、かつてあったバス路線も廃止や間引き運転が常態化している。美東地域では、現在左図に示す路線のみが存続している状況である。しかし、これらの路線でもバス利用者は限られ、走っているバスのほとんどが誰も乗車していないことが多く、路線維持も厳しい状況が続いている。

想定される敷地である元保健福祉センター周辺は、公共交通機関のカバーするエリアから外れており、交通弱者にとっての足の確保が大きな課題となる。

バスルートを延伸してバス停を設けることは費用対効果を考慮すると現実的ではないといえる。新しい施設への公共交通アクセス方法については、今後、有効な手段を検討する。

防災計画

「美祢市地域防災計画」に基づき、災害対策拠点としての役割および地域住民の避難場所として、必要な機能を検討します。

- (1) 行政機能の継続性の確保と早期の機能回復、及び、災害対策本部の支部としての機能
- 「美祢市業務継続計画」において、業務継続計画（BCP）を定めており、災害時の利用できる資源に制約がある状況下において、非常時優先業務をあらかじめ特定し、業務中断による混乱を最小限にとどめ、行政機能の継続性の確保と早期の機能回復を図る。
- ①支所部分において、災害発生後は直ちに災害対策本部美東支部として利用できるように検討する
 - ②災害発生時における管内の情報収集、及び、応急対策、関連機関との伝達機能に支障をきたさないように、自家発電設備やバッテリー等の予備電源の整備を図る
 - ③保管上重要な書類、サーバーや非常用電源などの災害対策応急活動等に必要な機能を収蔵する場所は、河川氾濫時の想定浸水深よりも高い位置とし、耐火性の高いつくりとする
 - ④緊急時、災害時における被災者等への的確な情報提供を行う設備の整備を図る
 - ⑤災害時に対応した備蓄倉庫の整備を計画する

- (2) 避難所としての機能
- あらかじめ、災害時において避難する被災者数や避難期間、受け入れ態勢などを想定し、安全に一定の生活環境を確保できる計画を検討する。
- ①多目的ホールや会議室、和室を避難所として有効に活用できる構成とする
 - ②炊き出しや支援物資集積拠点として活用できる構成とする
 - ③断水時に雨水や井水の中水利用の可能性を検討する
 - ④断水時にも利用可能なマンホールトイレなどの設置を検討する
 - ⑤駐車場や広場などを屋外避難場所として活用できる計画とする

- (3) 土砂災害対策
- 複合施設の建設場所の一部は、土砂災害防止法（山口県指定）により、土石流の危険がある地域（土砂災害警戒区域）に指定されている。複合施設は、大田地区の災害拠点も有していることから、安全性を高める対策を講じるとともに避難路を想定した機能の配置等を検討する。また、ハード面だけでなく、ソフト面での対応を検討する。

事業スケジュール

合併推進債の期限である2022年度末の完成を目標とします。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業スケジュールを基本構想策定時点のスケジュールから見直しました。ただし、合併推進債の期限が2022年度末であるため、施設の完成時期は当初の予定通り2022年度末を目標とします。

